

移行期の年間計画

6年

上巻

単元名・教材名

時数
移行←現行 主な学習活動

新学習指導要領との対応

現行の教科書単元・教材と扱い方及び時数が変わるところについて、次のように赤字で示した。

時数……………単元・教材全体での時数と領域ごとの時数の増減を示した。

主な学習活動……………◆で、変更の趣旨を解説した。また、それによる活動時程と学習活動の変更部分を示している。

新学習指導要領との対応…「主な学習活動」の赤字と対応し、新しくおさえる指導事項及び言語活動例を示した。

なお、「伝」は、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を示している。また、新規の指導事項でも、現行教科書で既に扱っている場合は赤字にしていない。

4月

	続けてみよう	1 書1	◎自分なりの課題を決めて続けることに興味と意欲をもつ。	書(1)ア
一	本に親しみ、自分と対話しよう カレーライス	7 読6 書1	◎叙述に即して読むとともに、登場人物の心情に共感したり反発したりしながら読んでいることに気づき、「物語を読む」ことについて考える。	読(1)アオ
	漢字の形と音・意味	2 伝2	◎漢字には形・音・意味があることを知り、漢字への興味を深め、漢字を書く。	伝(1)ウ(イ)
二	文章を読んで、自分の考えをもとう 生き物はつながりの中に	6 読6	◎文章の構成や表現から要旨をとらえるとともに、筆者の考えについて自分なりの考をもつ。	読(1)ウ
	漢字の広場 ①	2 書2	◎絵を見て想像を広げ、5年で習った漢字を使って、文や文章を書く。	書(1)ア 伝(1)ウ(ア)
	今も昔も 狂言 柿山伏 柿山伏について	4←0 読4	◆現行「言葉の森」にある「今も昔も」を本教材として取り上げ、新しく入った「伝統的な言語文化」にかかわる学習をする。 ◎狂言の調子や表現のおもしろさを味わいながら声に出して読む。 ◎狂言のよさや「柿山伏」に描かれている昔の人のものの見方や感じ方を知る。 1 狂言とその時代背景についての説明を読む。 2-3 「柿山伏」を声に出して読み、狂言独特の表現や調子のおもしろさに気づく。 4 「柿山伏について」を読み、昔の人のものの見方や感じ方について思ったことを話し合う。	読(1)ア 伝(1)ア(ア)イ(イ) 伝(1)ア(イ)

短歌・俳句の世界

3←4
読1
書2

- ◆書くことを2時間設定し、新たに短歌・俳句の創作をする活動を取り入れる。短歌・俳句の音読は中学年で扱うため、鑑賞は軽めに扱うこととする。
- ◎文語の言葉の響き・リズムや優れた表現に目を向けて、短歌・俳句を味わう。
- ◎発見したことや感じたことを短歌・俳句の形式で表現する。
- 1 教科書に載っている短歌・俳句を音読し、自分の好きな一首・一句を選んで、好きな理由や感じたことを発表し合う。
- 2-3 季節を表す言葉や、生活の中で発見したことなどをもとに短歌・俳句を作り、できた作品を読み合って、工夫されていると思う表現を見つける。

読(1)エ

書(1)オカ(2)ア

暮らしの中の言葉

1←2
伝1

- ◆ことわざの学習は中学年の指導内容になった。従来より軽い扱いにするが、新出漢字はおさえる。
- ◎ことわざや四字熟語について知り、暮らしの中に生きる言葉について関心を深める。

伝(1)イ(エ)(カ)

三 相手や目的に合わせて書こう

ガイドブックを作ろう／
よりよい文章に11
書11

- ◆自分の考えが伝わるように、図表やグラフを用いることとおさえる。また、全体の構成や目次の作成など、編集にかかわる部分を強化する。
- ◎自分が訪れた場所などについて、読む人のために必要な要素と効果的な書き方を考え、ガイドブックを作って交流する。
- 1 全文を通読し、ガイドブックを作る活動の計画を立てる。
- 2-3 いろいろなガイドブックを集めて参考にし、だれに向けて、どんなガイドブックを作るかを定める。
- 4-6 必要な材料を集めて、全体の構成を決め、目次を作る。
- 7-10 図表やグラフ、写真を取り込んだ割り付けを行い、記述を工夫してガイドブックを作る。
- 11 できあがったガイドブックを読み合い、表現やレイアウトのしかたに着目して助言し合う。

書(1)アウオ

書(1)エ(2)イ

書(1)カ

漢字の広場 ②

2
書2

- ◎絵を見て想像を広げ、5年で習った漢字を使って、文や文章を書く。

書(1)ア
伝(1)ウ(ア)

学級討論会をしよう

6
話聞6

- ◎それぞれの意見の長所・短所を分析的に考え、相手を説得する話し方を工夫したり、相手の論点を聞き取ったりして討論する。

話聞(1)エオ(2)イ

四 読書の世界を深めよう

森へ
本は友達12
4
読4
8
読3
書3
話聞2

- ◎優れた情景描写や説明を読み、筆者の体の動き・心の動きに寄り添って、未知の自然の物語を味わう。
- ◆現行の読書発表会を修正し、紹介するために「複数の本を比べて読む」活動を取り入れる。また、現行では紹介の方法を選ぶようになっているが、必ず推薦文を書くこととする。
- ◎複数の本を比べて読み、決めた一冊について推薦する文章を書いて友達と紹介し合い、読書の世界を深める。
- 5 「本は友達」を読んで、読書発表会までの見通しをもち、読みたい本についての要望を出す。
- 6-8 要望にこたえる本を二冊以上比べて読み、適切なものを一冊選ぶ。
- 9-10 推薦文の書き方を知り、選んだ一冊について、よさが伝わるよう推薦文を書く。
- 11-12 読書発表会を開く。

読(1)エ
伝(1)イ(カ)読(1)オ
話聞(1)イ読(1)カ(2)エ
書(1)アイ(2)ウ

9月	漢字の広場 ③	2 書2	◎絵を見て想像を広げ、5年で習った漢字を使って、文や文章を書く。	書(1)ア 伝(1)ウ(ア)
	船 りんご	2 読2	◎詩の表現を味わい、作者のものの見方・感じ方について考え、感想をもつ。	読(1)ア 伝(1)イ(ケ)
	同じ訓をもつ漢字	2 伝2	◎同訓異字の語について知り、言葉や漢字についての関心を深める。	伝(1)イ(ウ)ウ(イ)
10月	五 共に考えるために伝えよう みんなで生きる町	12←13 読1 話聞5 書6	◎自分の身の回りをユニバーサルデザインの観点から見直すために、「みんなで生きる町」を読む。 ◎取材して分かったことや今まで知っていたことを生かして、クラスの友達に分かりやすく伝えるように工夫して発表する。 ◎多くの読み手に自分の意見が伝わるよう構成を工夫し、提案する文章を書く。	読(1)イ(2)イ 話聞(1)アイオ(2)ア 書(1)イウエ(2)イ
	漢字の広場 ④	2 書2	◎絵を見て想像を広げ、5年で習った漢字を使って、文や文章を書く。	書(1)ア 伝(1)ウ(ア)
	日本で使う文字	2 伝2	◎仮名の由来などについての知識をもち、言葉や文字への関心を深め、漢字を書く。	伝(1)ウ(イ)

下 巻

10月	一 表現を味わい、豊かに想像しよう やまなし イーハトーヴの夢(伝記)	8 読8	◆資料「イーハトーヴの夢」を一編の伝記として扱い、自分の生き方を考える文章を書く活動をとり入れる。 ◎「やまなし」に描かれた情景を、叙述に則して想像しながら読む。 ◎伝記「イーハトーヴの夢」を読み、自分の生き方について考える。 1-2 「やまなし」の全文を声に出して読み、感想を話し合っ読みの視点をもつ。 3-5 「五月」と「十二月」の情景を想像豊かに読み取り、違いについて自分の考えをもち、友達と交流する。 6-7 伝記「イーハトーヴの夢」を読み、宮沢賢治の生き方を理解する。 8 賢治の生き方をふまえ、自分の生き方を考える文章を書く。	読(1)イエ 読(1)オ(2)ア
-----	---	---------	---	---

11月

熟語の成り立ち／ 覚えておきたい言葉

2
伝2

◎熟語の構成についての知識をもち、正しく読んだり書いたりする。

伝(1)イ(エ)

漢字の広場 ⑤

2
書2

◎絵を見て想像を広げ、5年で習った漢字を使って、文や文章を書く。

伝(1)ウ(ア)

二 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

平和のとりでを築く 自分の考えを発信しよう／ インターネットと学習

14
6
読6
8
書6
読2◎筆者が訴えたいことを読み取り、それについて自分の考えをもつ。
◎「平和」についてさらに考えるために調べ、深まった考えを分かりやすく構成して書いて交流する。読(1)イウ(2)イ
書(1)アイウ(2)イ

12月

漢字の広場 ⑥

2
書2

◎絵を見て想像を広げ、5年で習った漢字を使って、文や文章を書く。

書(1)ア
伝(1)ウ(ア)

今、わたしは、ぼくは

6
話聞6

◎小学校生活を振り返り、いちばん伝えたいことが効果的に伝わるように話す。

話聞(1)イウエ

1月

感動を言葉に

4
書4

◎自分の感動や発見を、表現を工夫して詩に書く。

書(1)アオ(2)ア
伝(1)イ(カ)

三 言葉って、おもしろいな

わたしたちの言葉

10
読1
書7
話聞2

◎自分たちの言葉や言語生活を見つめ直し、話したり書いたりする活動をとおして言葉の不思議さやおもしろさ、大事さにあらためて気づく。

読(1)ウ
書(1)ア
話聞(1)オ
伝(1)イ(オ)(カ)

2月

カンジー博士の 漢字クイズ大会

2
伝2

◎漢字クイズに楽しく取り組みながら、漢字を正しく読んだり書いたりする。

伝(1)イ(ウ)ウ(ア)

学習したことを生かして

海の命 今、君たちに伝えたいこと 生きる

11←12
読4
書5
話聞2

◎三編の作品を読んで感想や課題をもち、自分で学習方法を工夫して取り組むことで、自ら学び自ら考える力を身につける。

読(1)アウエ
書(1)アイウオ
話聞(1)イオ

3月